

都市計画案に対する意見書

令和3年7月2日から7月16日まで縦覧した以下の3つの都市計画案に対して、41名の方から、66通の意見書が提出されました。

- ・船橋都市計画用途地域の変更（用途地域） 19通
- ・船橋都市計画海老川上流地区土地区画事業の決定（区画整理） 34通
- ・船橋都市計画下水道の変更（下水道） 13通

意見書の内容は以下のとおりです。

No.	議案	意見書全文
1	用途地域	海老川上流域は船橋市が作成した防災ハザードマップで最大3メートルの浸水地域であり30年以内に起こるといわれる大地震や明日にも起こるかもしれない直下型地震の液状化地域である。住宅、商業地域にすることは絶対にやめてほしい。災害が起こった時に市長は責任を取ることはできない。

No.	議案	意見書全文
2	用途地域	<p>(1)今回の編入措置は、海老川上流地区の「土地区画整理事業」を県が追認し、お墨付きを与える、単なる経過措置にとどまっていると思うものです。</p> <p>(2)市長は「この地区は現状のままだと乱雑な開発が進んでしまう。（メディカルタウン構想は）今やらなければいけない事業だ」（6/8付東京新聞）と語っています。“乱雑な開発が進む事”と“メディカルタウン”は都市計画の専門家でしたら、次元を区分して考察される案件です。乱雑な開発問題を取り上げるとななるなら、同時に市の不作為も議論される必要があります。</p> <p>(3)市が喚起する「ハザードマップ（洪水・内水・液状化）」にプロットされ、土木会社が「超水場」（隠語）と認識している、地勢の劣悪な当該区域を今回、市街化区域に編入する事になれば、新たなハザードとして「モラルハザード」地域を公認指定することになります。行政に対する信頼が歪んでしまいます。</p> <p>(4)重い課題として、「土地区画整理事業」区域に限定した市街化区域への編入は、同区域内の地権者に強力な便益（使用収益権）を供与する性格をもつものです。中には登記上の地権者以外の関与も可能です。又、今後用意される地域地区指定次第では便益の質的側面が大きく変化します。</p> <p>(5)編入区域の設定範囲は、現医療センターまで拡張して議論されるべきです。</p> <p>(6)目玉の新医療センターの予定場所ですが、新駅に隣接する計画位置から600mほど内奥してしまい、至便性は著しく低下し、意義が不明確になりました。さらに、内奥の位置は人格権侵害の問題が発生し、建物容積にかなりの制約要因になる事が予測されます。既設の医療センターの場所は元々夏見町付近まで舌状に伸びていた地山を切土した部分に建てられ、海老川上流地区とは比較になりません。看護学校との関係もありますので、適地選定は既設周囲の「買い増し」を再考し、注力するべきと考えます。</p> <p>(7)人口減少時代の都市計画のあり方も改めて検討すべきですが、併せて「土地区画整理事業」は『財政問題』も不可分の関係にあります。市長は、“財政火の車論”をベースに発言されておられます。企画財政部行政経営課の発出資料『新たな行革へのステージへ』（令和3年4月15日）が確かにこれを裏付けいますが、土地区画整理事業（180億円）は油を注いでしまう事態になるのではと。</p> <p>(8)市長選の際、松戸候補の公約（8つの指針）は、「メディカルタウンの実現」とだけしか掲せていませんでした。市民向けの情報は市の「広報ふなばし」を含め、極端に不足していますので、早急に改善し、社会的公正に努めてください。（尚、以下については縦覧できるよう強く期待します。「土地区画整理事業費の推移」「土地区画整理事業における従前地・概略換地図」「区画整理施行前後の土地資産価値の変化」）以上</p>

No.	議案	意見書全文
3	用途地域	<p>海老川上流地区は船橋市洪水内水ハザードマップで浸水が想定されている。今後、気候変動による水害が一層深刻になるといわれている。浸水想定区域を宅地化し、将来の水害被害をまねくことはすべきでない。令和2年9月7日施行の都市計画法、都市再生特別措置法の改正の趣旨にも反する。</p> <p>千葉県施行の50mm/hr対応の調節池の建設も完成時期は不明である。</p> <p>船橋市の将来のまちづくりに多くの問題を持ち込む海老川上流地区区画整理事業は白紙に戻し、市街化区域への編入はやめるべきなので、用途地域の変更はすべきでない。</p>
4	用途地域	「市立医療センター」の老朽化等の移転理由は理解できるが、平成30年の「メディカルタウン構想」作成にあたって、当該地が大降雨時浸水被害を受ける土地であることが議論されたのか理解に苦しむ。このような危険地にメディカルタウンを設置するなど認められない。

No.	議案	意見書全文
5	用途地域	<p>1,市街化調整区域から市街化区域への変更に災害防止の観点から反対します。</p> <p>船橋市作成の「洪水・内水ハザードマップ」によれば、0.5mから3.0mの浸水が想定され、さらに地震による「液状化の発生予測図」では液状化の危険が高い区域となっています。</p> <p>千葉県の「災害防止の観点から必要な市街化の抑制に関する方針」でも「海老川沿いの水田は、これらの区域が市街化した場合、溢水や湛水の災害発生が予想され、かつ、下流の既成市街地への影響も著しいものがある」と指摘し、更に「これらの区域については、広域河川事業等の治水対策との整合性を図りつつ計画的な開発以外極力保全に努める。」としています。</p> <p>○当開発地の市の水害対策</p> <p>私の「市政ポストへの質問」に対する21年7月2日付の回答^Fでは開発業者へお任せで、市としての防災計画は特にありませんでした。</p> <p>○下流域への水害対策</p> <p>上記回答では、「本区画整理事業において調整池等の整備を行う。千葉県管理の海老川、飯山満川及び海老川調整池の整備が進まないことは抜本的な治水対策には結び付きません。とし,飯山満川については整備の協議を行い、海老川調整池の整備については要望しております」とのことであなた任せ、とても治水対策との整合性のある計画的な開発が進んでいるとは思えません。</p> <p>反対理由の2</p> <p>水害や液状化が予測され、住宅や病院を建てるのに最もふさわしくない場所をなぜ開発しなければならないのか、理由が薄弱である。</p> <p>市長は、船橋市の発展のためと漠然とした理由を挙げていますが、現在船橋市で売りに出されている住居は、千葉県広告機構に登録されているだけでも、売地290・戸建410戸・マンション450戸あり、需給がひっ迫しているとはとても思えません。さらに開発に反対の署名が2万筆を超えたように市民も望んでいません。気候温暖化で今まで経験したことのない災害が毎年のように繰り返されています、市民を危険にさらすような開発はやめてもらいたい。</p> <p>以上</p>
6	用途地域	<p>これ以上人口を増やすための「宅地開発」は船橋市の発展にとっては桎梏となる。</p> <p>新駅設置や医療センターを移設したとしても税金を投入する公益性は認められない。</p>
7	用途地域	<p>都市再生特別措置法の改正は、災害ハザードエリアに新規立地の抑制とあります。</p> <p>用途地域の変更是矛盾していると思います。</p>

No.	議案	意見書全文
8	用途地域	船橋都市計画用途変更する案についてですが市が配布しているハザードマップを見ると浸水想定地域となっています。そういう場所だったら用途地域の変更には無理があると思います。なので変更しないで欲しいです。また、医療センターは現在地とその近くに土地を見つけてほしいです。浸水が予想される場所に移すなど考えられません。
9	用途地域	日頃はご高配を賜り、まことに有難うございます。都市計画について恐れ入りますが意見を送らせて頂きます何卒宜しくお願ひ申し上げます。①都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更 医療センター移転予定地は、洪水ハザードマップで浸水想定地域です。医療センターは市で最も重要な高度医療機関で、災害時は救助の拠点となる病院なので浸水予定地に計画しないで下さい。千葉県が降雨50mm/h 対応の調整池の整備をするそうですが、最近ゲリラ豪雨も頻繁に起こるので十分対応できるのでしょうか？不安です。②区域区分の変更 海老川上流地区は洪水ハザードマップで浸水想定地域です。近年の異常気象により、宅地にするのではなく浸水のために遊水地公園にし、市街化区域編入は中止して下さい 現在この地域に居住者が少ない事から市の予算で新駅建設には合理性がありません。③用途地域の変更 都市再生特別措置法の改正は、災害ハザードエリアに新規立地の抑制とありますので用途地域の変更は矛盾しています。④海老川上流地区土地区画整理事業の決定 市は人口増加を見込み開発を進めていますが、市内には3万戸以上の空き家が放置されており、まずその対策が優先だと思います。またこの地域には貴重な生物が生息し自然破壊はやめるべきです。SDGs持続可能な開発目標の観点から、調整地域の開発は反対です。

No.	議案	意見書全文
10	用途地域	<p>海老川上流地区土地区画整理事業について</p> <p>今回市長が熱心に推し進めようとしている大型土地区画整理事業の対象地域は海老川の支流北谷津川、念田川、飯山満川が合流する地域であり、大雨などの時海老川沿いの水田は天然の調整池の役割を担って、市中心部を水害から守る役割を果たしています。</p> <p>県の市街化調整区域の土地利用の方針でも イ災害防止の観点から必要な市街化の抑制に関する方針で、海老川沿いの水田は、これらの地域が市街化した場合、溢水や湛水の災害発生が予想され、かつ下流の既成市街地への影響も著しいものがある。と明記し、極力保全するように求めています。最近毎年おこる豪雨災害を考えると恐怖さえ覚えます。</p> <p>市長は10年後を見据えた計画だといわれますが、人口減少のさきやかれる現在、船橋市だけ人口が増えるのでしょうか？ 壊した自然是元には戻りません。本事業の中止を求めます。</p> <p>「市立医療センター」の建てかえについて</p> <p>私も、市立医療センターの建てかえ、移転は必要と考えるものです。</p> <p>しかし、現在市長が進めようとしている海老川上流地区の整理事業と結びつけた移転計画には反対です。</p> <p>市の作成したハザードマップで洪水の危険があると指定した場所に、災害時市民の医療と安全に重要な役割を持つ医療センターを移転することは、有識者と言われる方達はなにを考えているのでしょうか？</p> <p>別紙で述べたように、船橋の防災上大切な役割を担っている海老川上流地区の埋め立て開発事業自体に反対です。</p> <p>「市立医療センター」の建て替えは現在地周辺の高台地域（埋め立ての費用が掛からず安全）に建て替えできるよう再度努力をお願いいたします。</p>
11	用途地域	<p>市は、ハザード・マップで危険が予想される海老川上流の開発をすすめようとしているが、どうして最大3メートルの浸水が予想されるところにこだわるのか。そのうえ、医療センターを、そんな所へ移転しようなど、とんでもないことで、怒りを覚える。</p> <p>船橋は人口が増えつづけると述べているが、現在空家が3万戸以上あると言われており、その対策を本気になって行うべき。また、県の方針にもあるように、海老川上流の市街化は、「溢水や湛水の災害発生が予想され、かつ、下流の既成市街地への影響も著しいものがある」と指摘されている。このような無謀な土地開発に私たちの税金を無駄に使うな。</p> <p>結局、大型開発デベロッパーを喜ばせるだけである。</p>

No.	議案	意見書全文
12	用途地域	<p>①土地区画整理事業について 開発後その土地を購入した人がこのところの異常気象で大きな災害にあった時、（床下・床上浸水等）どこが責任を持つのか。</p> <p>①市内に民間が開発した危険個所がたくさんあります。 新らしく開発をするより今あぶないところをチェックし市民の安全を守るのが先ではないか。</p> <p>①開発後の病院が駅の近くにないと聞きます。大型開発するより市民の利用できる公園にでもした方がよい</p> <p>①船橋市には公園が少なく最近では近くにあった空地も家がたち、災害の時のにげ場もへりました。 公園がなく松戸市や習志野市、八千代市の公園を利用させてもらっています</p> <p>船橋の公園にし、海老川の土地開発はやめてほしいです。 よって下水道を作る事も必要ないです。</p> <p>市民の税金を市民の為に使って下さい。</p> <p>都市計画そのものをみなおして下さい。</p>
13	用途地域	<p>現地を見てきました。 市街化には反対します。</p> <p>「親水植物公園」（仮称）をつくり、誰もが自然に触れることのできる場にして下さい。 近くに”公園”がないため、泉自然公園や昭和の森など、他市まで出掛けています。</p>
14	用途地域	<p>①ハザードマップで洪水、液状化のある場所に医療センターの移転は、緊急災害時に役に立ちません。移転、および、メディカルタウン開発は、やめて下さい。</p> <p>②海老川上流には、千葉県レッドデータブックでは最重要保護生物、船橋、や環境省では、準絶滅危惧種の、「ニホンイシガメ」が生存しています。貴重な場所です。自然を破壊する宅地開発はやめて、自然保護区にして下さい。</p>

No.	議案	意見書全文
15	用途地域	<p>本案、用途地域の変更理由においては、「海老川上流地区は」「新たに計画的市街化を図るべき地域である」とされているが、そもそも当該地域は、千葉県が想定した『千葉県北西部直下地震』を基に船橋市の「津波・地震ハザードマップ」において震災時には「液状化危険性」が「極めて高い」あるいは「高い」とされる地域が多く含まれるとともに、「洪水・内水ハザードマップ」においては0.5~3.0mの浸水が想定される地域であり、このような危険な地域を開発し、「新たに計画的市街化を図るべき地域」として「面的に公共施設を整備し」用とすること自体が、地域の防災に逆行するものといわざるを得ません。海老川流域並びに飯山満川流域では、いまなお繰り返し水害に見舞われ、今年度も試験施工が行われるものとの進捗率に変わりはなく、いつ事業が完成するのかの見通しが全く立っておりません。近年、これまでの想定を大きく上回る豪雨災害が全国各地で起きている中、自治体として第一に行うべきは、住民の生命・財産を守ることではないでしょうか。「早期」の「土地利用」のための「用途地域」の「変更」ではなく、まずはべきは、調整池をはじめとした治水事業ではないでしょうか。かつては繰り返し水害に見舞われた長津川流域は「長津川ふれあい広場」の完成により、水害対策に大きく貢献するとともに、船橋市民をはじめとした多くの方々に憩いの場を提供しています。一人当たりの都市公園面積が全国平均の3分の1にも満たないここ船橋市。「市街化を図る」まえに、本案の海老川上流地区を親水公園とするなど、治水対策と共に公園緑地化を推進し、市民に愛される街づくりをして頂きたいと望むものです。</p>
16	用途地域	<p>都市計画用途地域は、市が作成した「洪水・内水ハザードマップ」にそのほぼ全域が50cm~3mの侵水想定区域になっています。更には、「地震ハザードマップ」でも液状化の危険が極めて高い区域として指定されています。</p> <p>近年の地球温暖化の影響により降水量は年々増化しており毎年広範囲に甚大な被害をもたらしています。浸水想定区域を宅地化し将来の水害破壊を招くような計画はすべきでないと思います。</p>

No.	議案	意見書全文
17	用途地域	<p>今回の船橋市都市計画案に反対します。</p> <p>1 計画されている区域はもともと低地で、水田が広がっていた区域です。地形図を見れば一目瞭然、周りは台地で、自然に水が流れ下る地先に今回の計画区域はあります。総括図では計画区域は低地の真ん中の一部分です。この一部だけを排水設備を「良くして」市街化区域化しても、周りがみんな低地のままであれば、洪水時には孤立するだけである。これは、市街化調整区域として残し、洪水の場合の調整地として残すのが最も地政学的に言って妥当な方針ではないかと思います。</p> <p>2 千葉県の方針の「⑤市街化調整区域の土地利用の方針」の中でも、災害防止の観点から必要な市街化の抑制が必要で、海老川上流について特に言及している。住宅地にするのではなく、大きな自然公園などにして、「乱開発」を防ぐ方法を検討すべきである。</p> <p>3 船橋市立医療センターをこの開発区域内に移転する計画だが、現在地での建て替えを検討すべきである。わざわざハザードマップで船橋市自らが洪水危険地域だと指摘している所に、ライフラインの最も重要な基幹病院を移転させることは自己矛盾も甚だしい。医療センターの建て替え問題は、本都市計画案とは切り離して検討されるべきものである。</p> <p>4 海老川上流区域の大型開発は、20年以上前から何度か計画され、その都度とん挫した経緯がある。報道によれば、この25年の間に事業化面積は79から42ヘクタール、総事業費は334億円から158億円へ（その後192億円）と変転し、医療センターの移転や新駅の増設などが付け加わっている。なぜこうも無理な開発をまた行おうとしているのか。市街化区域になれば税金が大幅に値上がりし、事業に参加したくない農家にとっては苦痛以外の何物でもない。この期に及んでもなお10%近くの地権者が同意していないという。無理な大型開発は中止すべきである。</p>
18	用途地域	<p>現在市として進めようとしている上記事業に伴い、市街化調整区域を市街化区域に変更してまで進めようとしていることに反対します。</p> <p>上記地区は船橋市が作成しているハザードマップでは、浸水想定地域になっています。近年の地球温暖化が進む中で自然災害も頻繁に起こり、この地区は、3mもの洪水被害が予想されているところです。市が作成したハザードマップは何のためにあるのでしょうか。そんな危険な所を宅地開発や、市立医療センターを利転するなど計画することはどう考えても絶対におかしいと思います。</p> <p>千葉県の「市街化調整区域の土地利用の方針」を読みました。イの災害防止の観点から必要な市街化の抑制に関する方針に反しているのではないか。この方針について、計画は合致していますか、お尋ねします。</p> <p>災害はいつどんな形でくるか判りません。次世代に胸を張って手渡せる街づくりを心から望みます。市民のための日本一住みたい街ふなばしを大型開発ではなく、小さなことでも隅々でも照らされ喜ばれる心温かい市政を作ってください。</p>

No.	議案	意見書全文
19	用途地域	<p>市は人口増加を見込み開発を進めるとしていますが3万戸以上の空き家が放置されています。まずその対策をすぐにして下さい。</p> <p>またこの地域には貴重な生物が生息し、自然破壊は中止すべきです。</p> <p>SDGs持続可能な開発目標の観点から調整地域の開発は、反対です。</p>
20	区画整理	<p>海老川上流域は船橋市が作成した防災ハザードマップで最大3メートルの浸水地域であり30年以内に起きるといわれる大地震や明日起きたかもしれない直下型地震による液状化地域である。そんな所に大切な医療センターを移転したら、洪水の時、地震の時、役割をはたせなくなってしまう。医療センターをコロナ禍の中でわざわざ危険な場所に移そうとは市長は何を考えているのか？</p> <p>危険地域にわざわざ駅を作り、住宅地を造成するのもやるべきではない。</p> <p>税金は、今、コロナ対策に使うべきである。</p> <p>危険で愚かな計画は中止すべきである。</p>
21	区画整理	<p>上記について縦覧させて頂きました。</p> <p>6月20日施行の船橋市長選挙の広報やパンフ、街頭演説でも殆ど触れることのなかったこの大規模開発計画が奇異に感じます。</p> <p>同時に、この地区は昨年船橋市が自ら発表したハザードマップで、大規模災害時に浸水の恐れがある地域としている点、こんなところに市医療センターの移転をすること自体無謀の策と言えますし、既に公表された総額166億円の予算も直近に15増え追加、発表されたように、まだまだ膨れあがる計画となることは明らかです。市民はこんな乱暴な計画ではなく、安心して暮らせる船橋市を望んでいます。建設するなら、学校、保育園、年金収入で入れる老人ホーム、中小ホール、公園など65万都市にふさわしい町づくりこそ期待しています。ぜひこの計画の見直し、中止をお願い申し上げます。</p>

No.	議案	意見書全文
22	区画整理	<p>本事業の事業計画決定はすべきでない 理由</p> <p>1 本事業区域は船橋市洪水・内水ハザードマップによると、区域の大半で浸水が想定され、想定し得る最大規模の降雨の場合は浸水深が0.5m~3mとなっている。それに対し宅地の浸水深が0.5m以下となるよう宅盤のかさ上げを検討するとなっているが、かさ上げの高さは明示されていない。仮に2mかさ上げした場合、既存の道路との接道は困難ではないか。特に医療センターは浸水時の接道が困難では、拠点病院としての役割は果たせない。ドクターカーの救急ステーションも敷地内に置く予定だが、ドクターカーの発着も困難となる。 また、50mm/hrの降雨に対応した河道及び調節池の整備を千葉県が行うことが前提となっているが、用地取得に難航し、完成時期の見通しは立っていない。少なくとも、調節池完成後まで、事業計画決定はすべきではない。</p> <p>2 本事業の実施の理由に、増加する人口の受け皿の確保と、休耕地・耕作放棄地が目立つようになり、小規模な宅地開発や墓地の造成、資材置き場、作業場などが混在した土地利用が進んでおり、スプロール化への対応を上げている。 人口増の受け皿というならば、船橋市内で増え続けている空き家が、平成30年度の住宅土地統計調査では3万2120戸となっている。老朽化した空き家など地域の居住環境の悪化も起こしており、人口増の受け皿は新たなまちづくりよりも先に、既存市街化区域の住宅ストックの活用を行うべきです。 スプロール対策も区画整理事業以外の手法の検討が行われていない。必要な都市施設、道路や公園などは都市施設として都市計画決定することができる。調整区域の無秩序な開発は、それ自体が問題であり、調整区域の規制を強化すべきである。</p> <p>3 本区画整理事業では、資金計画で助成金や負担金56億円を船橋市が負担することになっている。また区画整理事業の前提である東葉高速鉄道の新駅建設費65億円も船橋市が財政負担することになっているが、船橋市の財政負担について市民へ説明は行われていない。船橋市は財源不足を予測する財政推計を行っており、本事業の財源負担への市民理解は得られておらず、現時点で事業計画を決定することには無理がある。</p> <p>4 船橋市が行った海老川上流地区環境影響調査業務委託調査の報告書(令和2年7月)では本事業地域内に重要な哺乳類のカヤネズミ、コチドリなどの重要な鳥類、ニホンイシガメなどの重要な爬虫類の生息が確認され、事業によって現在の生息場所を失うことが明らかにされている。 しかし「影響は小さいものと予測する」との評価となっており、事業の実施を認める内容となっているが、都市部での貴重な自然環境の破壊</p>

No.	議案	意見書全文
		<p>は軽視できない問題である。地球温暖化対策の面からも逆行する計画である。</p> <p>5 医療センターの移転地確保が目的の一つとなっているが、水害が想定される場所への移転は将来の船橋市の医療にとって重大な問題を持ち込むことになる。医療センターは地域の医療機関と連携・協力しながら救急医療を主体とする急性期医療及び高度医療を担う船橋市内の核病院である。災害時であれば、災害時の拠点病院としてその役割は一層重要になる。水害で、病院機能が低下するようなことがあれば、地域全体の医療体制にも重大な影響を及ぼすことになる。浸水の想定される地域への移転はすべきではなく、船橋市は安全な場所での移転を進めるため用地を至急確保すべきである。</p>
23	区画整理	<p>「海老川上流地区土地区画整理事業の決定」について意見書を提出します。</p> <p>この事業の該当地区は、大災害・水害時に浸水・液状化現象が発生する危険大と市自ら発表したハザードマップでも指摘している地区です。加えて財政支出も次から次に当初予算を上回り続けることが予想されることから、ますます市民サービスのカット、負担が強いられるることは必定です。</p> <p>市民は、こんなムダ遣いでなく、小学校、保育園、老人ホームや福祉分野への予算増を求めています。子どもにも、お年寄りにもやさしい65万都市づくりをすすめて下さい。</p>
24	区画整理	<p>この計画の土地は、今全国で問題になっている水分の多い危険な土地と、市のハザードマップで知り心配しています。</p> <p>船橋市は、道路整備も遅れており、子どもを学校に行かせるについても、医療についても行き届かないことがたくさんある。</p> <p>市民の生活を安心したものにするためにもっと予算をまわしていただきたい。</p> <p>この計画に多くの人の要望はあるのでしょうか。ご検討お願いたいします。</p>
25	区画整理	<ul style="list-style-type: none"> ・医療センターは、危険な浸水想定区域ではなく、安全な場所に移転させて欲しい 尚かつ駅から近い場所でなければ高齢者、障害者等の歩行困難者は、受診出来ないので考慮して欲しい ・湿地は緑化公園など、いざという時に市民の命に別条がなく、かつ市民の安らげるような施設に利用して欲しい ・先日、日本各地の（特に熱海）の災害で嵩上げによる地盤対策が逆に崩れやすく危険であることが判明したと思うので安易な地盤対策は一考の必要があると思う。

No.	議案	意見書全文
26	区画整理	<p>大雨等の季節には、浸水が予想されている地域に住宅・医療センターを作ることは、税金を湯水のごとく使わねばなりません。考え方を変えて、親水公園などにしていけば、公園の少ない船橋市民を喜ばせることにつながります。</p> <p>新駅は必要なのでしょうか。例え、できたとしても医療センターから500mも離れていては便利とはなりません。だれの為の駅か、医療センターの移転か、考え直してください。安全な場所に移転して下さい。</p> <p>大切な税金を市民の為に使って下さい。</p> <p>業者がもうかるなどとんでもないことです。市内は大雨などの時危険な所がたくさんあります。調査をしっかりして、今ある危険な所を改良するために税金を使ってください。</p>
27	区画整理	「海老川上流地区は、～新たに計画的市街化を図るべき地域」としているが、果たして「公共施設を整備し、新たに計画的市街化を図るべき地域である」か疑わしい。気候変動化が進み、全国各地で大雨による災害が多発している折、ハザードマップで大降雨時浸水が予定される地域の用途地域の変更は認められない。

No.	議案	意見書全文
28	区画整理	<p>以下の点を指摘して、海老川上流地区の区画整理事業をすすめるための当該区域を市街化区域に編入する計画の中止を求めます。</p> <p>1,SDGS国連持続可能な開発目標は15項目目に「陸上生態系の保護、回復及び持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止及び逆転、並びに生物多様性損失の阻止を図る」ことを掲げています。本計画は、この目標に反しています。「海老川上流地区環境影響調査業務委託調査報告書」(令和2年概要版)によると、この区域には重要植物が10種類が確認されています(37頁)が、植物相の変化の項では「造成工事により対象事業実施区域の植物多くは消失します」(39頁)と記されています。動物は、哺乳一種、鳥類21種、爬虫類7種、両生類1種、昆虫類9種の重要な動物が確認されています。植物同様、「事業の実施によりほとんどが消失します」とされています。陸水生動物は6種、底生動物6種が生存していますが、「暗渠化される宮前川に生息する種は一時的に大きく減少する可能性がある」としている。この報告書では、区画整理事業区域外に緑地や農地等が残っているのでそこに移動するような配慮をする、影響を減ずることが出来るとしていますが、事業地で失われた動植物の回復は出来ないとしています。田畠で餌をついばむ鳥たちにとっては、田畠が無くなることによって餌場等の生存条件がうばわれ、減少消滅につながります。これは人間の生存の条件が悪化することあります。このような自然破壊の乱暴な事業は、実施するべきではありません。</p> <p>2,この事業用地は、2011年の東日本大震災で液状化が発生した場所です。また市の洪水マップによると3mほどの浸水が予測されています。(海老川9時間で516ミリ降雨)土地の造成に液状化対策を施し、区画整理用地をかさ上げし、浸水対策を実行するとなっています。しかし、海老川、長津川は、上流部の開発により毎年反乱を繰り返し、大橋市長時代に、激甚災害指定を受け、洪水対策を行ってきて、一定の改善がされてきています。しかし、現在の対策も、時間雨量30ミリ対応です。それもまだ県事業の調整池は完成していません。別な放流管が必要ですが、まったく進んでいません。ここ数年、地球温暖化の影響といわれていますが、50年に一度、100年に一度これまで経験していない豪雨が降り続き、甚大な被害が日本各地で発生しています。事業区域が農地として自然の調整機能を発揮しているから本町など市中心部での洪水が防げていますが、海老川上流域の宅地化により、かってのような洪水が生ずる可能性が高まります。このような危険な事業はやめるべきです。都市公園として、農業など自然を生かした街づくりをすることが、SDGSなど世界の流れに沿う方向であると考えます。</p>

No.	議案	意見書全文
29	区画整理	<p>①土地区画整理事業について 開発後その土地を購入した人がこのところの異常気象で大きな災害にあった時、（床下・床上浸水等）どこが責任を持つのか。</p> <p>①市内に民間が開発した危険個所がたくさんあります。 新らしく開発をするより今あぶないところをチェックし市民の安全を守るのが先ではないか。</p> <p>①開発後の病院が駅の近くにないと聞きます。大型開発するより市民の利用できる公園にでもした方がよい</p> <p>①船橋市には公園が少なく最近では近くにあった空地も家がたち、災害の時にげ場もへりました。 公園がなく松戸市や習志野市、八千代市の公園を利用させてもらっています</p> <p>船橋の公園にし、海老川の土地開発はやめてほしいです。 よって下水道を作る事も必要ないです。</p> <p>市民の税金を市民の為に使って下さい。 都市計画そのものをみなおして下さい。</p>
30	区画整理	医りょうセンター移転について、危険な地域への移転は反対です。ぜひともやめていただきたい。 東葉高速の駅新設も市の予算で行われるのは、納得がいかない やめていただきたい。
31	区画整理	土地区画整理事業に税金を投入することは、税を納める市民にとっても、土地を提供する農民にとっても、公共的な公益性を認めることはできない。 ましてや、ハザードマップの水害想定区域を宅地化するなどあってはならない。
32	区画整理	海老川上流地区土地区画整理事業の決定についての意見書 市は人口増加を見込み開発を進めるとしていますが、市内には3万戸以上の空き家が放置されています。まずその対策が優先だと思います。 この地域には貴重な生物も生息し自然破壊はやめていただきたい。調整地域の開発は反対します。
33	区画整理	この地いきは湿地帯なので川を利用した公園として、北部の国の重要文化ざいと共に大きな公園にしたらと思います。

No.	議案	意見書全文
34	区画整理	船橋都市計画海老川上流土地地区画整理事業の決定案についてですが市は人口増加が見込まれるので開発を進めるとしていますが市内には3万戸以上の空き家が放置されているというではありませんか？まずはその対策をすることが先ではないですか？また、この地域には貴重な生物が生息していると聞きました（〇〇イシガメというそうです。詳しい名前忘ましたが、高校生が見つけたとか？）自然破壊はやめてください。SDGsの観点からも反対します。
35	区画整理	医療センター予定地は、洪水ハザードマップで浸水想定地域です。医療センターは市で最も重要な高度医療機関で、災害時は救助の拠点となる病院なので浸水予定地に計画をしないでください。近年の異常気象により、宅地にするのではなく、浸水時のための遊水地公園にし、市街化区域編入は中止してください。現在この地域に居住屋が少ない事から市の予算で新駅建設には合理性がありません。
36	区画整理	都市計画についての意見書 船橋市が進めようとしている「メディカルタウン講想」に反対します。市長選の最中に上記の問題が浮上してきた時に、市が作成したハザードマップを見直しました。●●●●氏が指摘していたように、浸水地域にわざわざ市の最も重要な高度医療機関を移転させたり、宅地開発をする意図が全く理解できません。素人の私がまず頭に浮べることは利権が裏で動いているのではないかということです。●●●●氏が経営する建設会社が問題の土地をかなり所有しているということも聞きました。一部の人間が莫大な利益を得る講図は今の自公政権と何ら変わりません。松戸徹市長は市民の税金を使って「メディカルタウン講想」を進める理由として一帯の乱開発を防ぐためと言っていますが、すでに「新駅ができると便利です」と書かれた墓地のチラシがポストインされていて乱開発が始まっているのではないでしょうか。土地の値上げを見越して切り売りした二束三文の土地を競って購入している市民が多くいるようです。つい最近、新駅のための予算が3割アップしたようです。危惧していたことが現実になってきました。このままでは、あれもこれもと際限なく税金が無駄に使われていくのが目に見えています。行革と称して市民負担を増やして集めたお金を、このような無駄な開発事業に使わないで下さい。最近の気候変動で予想外の災害が起きています。侵水地域に建てられた病院や住宅が人災によって大きな被害が出たときに、市が責任を取れるのですか。日本全国の平均より公園が少ない船橋市に市民が憩う親水公園を造って下さい。日本一住みやすい船橋市を実現するために、私たちの貴重な税金を使って下さい。よろしくお願ひいたします。

No.	議案	意見書全文
37	区画整理	<p>日頃はご高配を賜り、まことに有難うございます。都市計画について恐れ入りますが意見を送らせて頂きます何卒宜しくお願ひ申し上げます。</p> <p>①都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更 医療センター移転予定地は、洪水ハザードマップで浸水想定地域です。医療センターは市で最も重要な高度医療機関で、災害時は救助の拠点となる病院なので浸水予定地に計画しないで下さい。千葉県が降雨50mm/h 対応の調整池の整備をするそうですが、最近ゲリラ豪雨も頻繁に起こるので十分対応できるのでしょうか？不安です。</p> <p>②区域区分の変更 海老川上流地区は洪水ハザードマップで浸水想定地域です。近年の異常気象により、宅地にするのではなく浸水時のために遊水地公園にし、市街化区域編入は中止して下さい 現在この地域に居住者が少ない事から市の予算で新駅建設には合理性がありません。</p> <p>③用途地域の変更 都市再生特別措置法の改正は、災害ハザードエリアに新規立地の抑制とありますので用途地域の変更は矛盾しています。</p> <p>④海老川上流地区土地区画整理事業の決定 市は人口増加を見込み開発を進めていますが、市内には3万戸以上の空き家が放置されており、まずその対策が優先だと思います。またこの地域には貴重な生物が生息し自然破壊はやめるべきです。SDGs持続可能な開発目標の観点から、調整地域の開発は反対です。</p>

No.	議案	意見書全文
38	区画整理	<p>(1)今回の編入措置は、海老川上流地区の「土地区画整理事業」を県が追認し、お墨付きを与える、単なる経過措置にとどまっていると思うものです。</p> <p>(2)市長は「この地区は現状のままだと乱雑な開発が進んでしまう。（メディカルタウン構想は）今やらなければいけない事業だ」（6/8付東京新聞）と語っています。『乱雑な開発が進む事』と『メディカルタウン』は都市計画の専門家でしたら、次元を区分して考察される案件です。乱雑な開発問題を取り上げるとなるなら、同時に市の不作為も議論される必要があります。</p> <p>(3)市が喚起する「ハザードマップ（洪水・内水・液状化）」にプロットされ、土木会社が「超水場」（隠語）と認識している、地勢の劣悪な当該区域を今回、市街化区域に編入する事になれば、新たなハザードとして「モラルハザード」地域を公認指定することになります。行政に対する信頼が歪んでしまいます。</p> <p>(4)重い課題として、「土地区画整理事業」区域に限定した市街化区域への編入は、同区域内の地権者に強力な便益（使用収益権）を供与する性格をもつものです。中には登記上の地権者以外の関与も可能です。又、今後用意される地域地区指定次第では便益の質的側面が大きく変化します。</p> <p>(5)編入区域の設定範囲は、現医療センターまで拡張して議論されるべきです。</p> <p>(6)目玉の新医療センターの予定場所ですが、新駅に隣接する計画位置から600mほど内奥してしまい、至便性は著しく低下し、意義が不明確になりました。さらに、内奥の位置は人格権侵害の問題が発生し、建物容積にかなりの制約要因になる事が予測されます。既設の医療センターの場所は元々夏見町付近まで舌状に伸びていた地山を切土した部分に建てられ、海老川上流地区とは比較になりません。看護学校との関係もありますので、適地選定は既設周囲の「買い増し」を再考し、注力するべきと考えます。</p> <p>(7)人口減少時代の都市計画のあり方も改めて検討すべきですが、併せて「土地区画整理事業」は『財政問題』も不可分の関係にあります。市長は、『財政火の車論』をベースに発言されておられます。企画財政部行政経営課の発出資料『新たな行革へのステージへ』（令和3年4月15日）が確かにこれを裏付けていますが、土地区画整理事業（180億円）は油を注いでしまう事態になるのではと。</p> <p>(8)市長選の際、松戸候補の公約（8つの指針）は、「メディカルタウンの実現」とだけしか掲せていませんでした。市民向けの情報は市の「広報ふなばし」を含め、極端に不足していますので、早急に改善し、社会的公正に努めてください。（尚、以下については縦覧できるよう強く期待します。「土地区画整理事業費の推移」「土地区画整理事業における従前地・概略換地図」「区画整理施行前後の土地資産価値の変化」）以上</p>

No.	議案	意見書全文
39	区画整理	<p>ウォーキングしながら、改めて、現地を見てきました。</p> <p>湿地もあり、ハザードマップでも指摘されている地域です。</p> <p>開発は「親水植物公園」（仮称）に限定して下さい。市街化には反対です。</p>
40	区画整理	<p>船橋都市計画土地区画整理事業の決定の案について、下記の通り意見書を提出します。</p> <p>記</p> <p>全国で異常気象が頻繁に発生しています。船橋市も「これまで経験したことのない大雨」にいつ襲われるのか、不安を払拭しきれません。保育所が存在する地域も、1989年には胸まで浸かる浸水被害が出た地域です。</p> <p>私どもの保育園は50年来船橋駅近辺、市中心部での保育要請に応え続けてきました。その意味では「地域の保育所」です。環境は必ずしもベストとは言えませんが、地域全体の環境を向上させることも、私たちの使命の一つです。</p> <p>この度の海老川上流地区まちづくり策定にあたっては、子どもたちの命を守ることを最優先すべきです。土地区画整理事業においては「水害の心配のないまちづくり」の立場に立てば県、市両者の治水計画の関係性と展望の明確化が必要です。</p> <p>「決定」は区画地域内に遊水地等の計画が具体的ではありません。すぐ下流には、42年前から下流域の浸水等の対策を目的に、県の「海老川調整池」計画が進められています。</p> <p>市が上流部を「市街化区域」にし、十分な治水対策を行わなわれないと、県の「海老川調整池」計画が破綻し、下流域で従来以上の水害等を引き起こす可能性があります。</p> <p>区画地域内宅地を嵩上げをすれば結果として、海老川に注ぐ雨水量は激増するものと思いますが、市の想定が不明です。飯山満川の雨水調整池だけで対応できるという根拠がないように見えます。</p> <p>そもそも浸水想定区域をあえて「まちづくり」区域とする理由が明確でありません。</p> <p>市は昨年11月に「説明会」を行い、それには10人が参加、しかし水害にかかる質問は全くありません。水害等、治水の観点で市はどれだけの説明をしたのでしょうか。</p> <p>市は、市費負担166億円の大事業で、広範な下流域の治水に重大な影響が想定されるにもかかわらず、市民にその重大性を伝えていないと思います。以上の理由から影響が想定される各住民自治会（町会）単位ごとに「水害対策と、海老川上流部開発にかかる説明会および公聴会」を行うことをもとめます。</p>

No.	議案	意見書全文
41	区画整理	<p>そもそも本案当該地域は、千葉県が想定した『千葉県北西部直下地震』を基にした船橋市の「津波・地震ハザードマップ」において、震災時には「液状化危険性」が「極めて高い」あるいは「高い」とされる地域が多く含まれるとともに、「洪水・内水ハザードマップ」においては0.5~3.0mの浸水が想定される地域です。このような危険な地域を開発し、「東葉高速線の新駅設置」を核とした「新たな街づくりの実現」として位置付けること自体が、地域の防災に逆行するものといわざるを得ません。また、どうしてこのような地域を「都市機能が集積した新たな拠点」とするのか、まったく理解することができません。</p> <p>本案の理由として「令和7年まで人口増加を見込んでいることから、増加する人口の受け皿を早急に確保する必要がある」としているが、令和8年の新駅設置を見込んでいた当初の計画からも大きく時期がずれ込んでおり、新たな市街化地域が形成されたときには人口が減少に転じていることが見込まれ、「人口の受け皿を早急に確保する」必要性はなくなるのではないかでしょうか。</p> <p>また、「道路や排水施設等のインフラ整備が十分に行われないまま、開発行為による虫食い状の宅地化が進んで」いるのは、船橋市としての対応・施策に問題があるのであり、「都市のスプロール化への早期の対応」は、本土地区画整理事業とは別に、早急に行政として手を打つべき事業ではないでしょうか。</p> <p>当初、新駅を設置してその駅前に医療センターを建て替え、市民の利便性を図ると言っていましたが、本案では区画整理した駅から一番離れた所に医療センターを建て替えるよう変更されてしまいました。傷病者にとっては、とても便利なところとは言えないと思います。市民の利便性を語るなら、バス便の増設など、どうして現状の改善をしようとするのでしょうか。</p> <p>また、50億円もの税金を使って新駅を建設するより、市民が望んでいるのは東葉高速鉄道の運賃値下げであることを最後に付け加えたいと思います。</p>

No.	議案	意見書全文
42	区画整理	<p>船橋都市計画海老川上流地区土地区画整理事業に反対する。以下はその理由である。</p> <p>1.当初、総事業費は148億円とされていたが、年月が過ぎるとともに158億円、192億円と激増している。東葉高速鉄道の新駅設置費も当初は50億円とされていたが、今年6月、65億円となった。現時点で本事業の市の支出は56億円、新駅設置に65億円、市立医療センターの用地代として60億円が予定されており、合計181億円の公金支出が見込まれるが、開発区域の特性として洪水や液状化の対策なども求められる中、今後はどれだけの金額が膨らむか、不透明である。</p> <p>船橋市は本事業のために「行革」を重ねるとしているが、公表されているものだけでも加入者に低所得層の多い国民健康保険料の値上げ、差押えの強化など、市民の命と生活に関わる部分に著しいダメージを与える施策が並ぶ。一方で喫緊の課題である地球温暖化対策にはほぼ予算をつけず、おざなりである。財政的な面から承服できない。</p> <p>2.約30分で都心に着く新駅ができることで、開発利益を得る者がいる一方で、財産権を侵害される市民が生まれる。市や組合は地権者の同意率について9割をめざしていたが、逆に言えば1割に当たる約20人の地権者が反対しても開発を実行するということである。憲法29条は私有財産を「正当な補償の下に、公共のために用いることができる」としているが、特に本事業が公共のためかという点で大いに疑問である。</p> <p>3.市の洪水内水ハザードマップでは、開発区域は最大3メートルの浸水想定区域とされている。千葉県が付近に設置する予定の調節池は地権者の同意が集まつておらず、完成時期が不透明である。早ければ2030年には地球の平均気温が0.2~0.3度上がると言われる中、海老川下流地域の洪水リスクを増す開発はすべきではない。</p> <p>4.農地土壤は二酸化炭素の吸収源として働き、二酸化炭素の削減に貢献できるため、地球温暖化対策としても農地の保全が求められている。船橋市は耕作放棄地の広がりを問題視しているが、財政的な裏付けが十分な耕作放棄地対策を行なってきたのか、自己検証が不十分なのではないか。今からでも方針を転換すべきである。</p>
43	区画整理	<p>上記区画内に移転が予定されている船橋市の医療センターの、移転先の地盤改良計画の詳細（耐震強度、工法、事業実施後の確認方法等）が知りたく、縦越しに来庁しましたが、該当の資料がなく、安全を確認できませんでした。地域の防災の心臓部である医療センターの立地（←現在予定の移転先は市配布のハザードマップによれば津波1m以上、液状化リスク高い～やや高い」に該当しています）条件（土地の耐震性や津波・洪水リスク）は非常に気になるところですので、是非市民が検討できるよう、資料を縦覧の際に公開していただくとともに、都市計画審議会でも最重要の問題としてご検討下さるよう、お願ひいたします。</p>

No.	議案	意見書全文
44	区画整理	<p>海老川上流地域は、船橋市のハザードマップによりますと、災害時には浸水や液状化が想定されているようです。その危険をおかしてまで開発し、住宅化・新駅・医療センターを作っていく必要性・有効性があるのでしょうか。この地域は、貴重な生物が多数生息しているとも聞いております。これからの地球の事を考えましても、市民が安心・安全に生活できるよう、土地利用していってほしいと考えます。</p>
45	区画整理	<p>海老川上流地区の船橋市事業案に反対です。</p> <p>この地区は、ハザードマップにある水害想定地だからです。毎年日本の夏は梅雨から水害が発生しやすく、今月も静岡県熱海市で大変な土砂くずれや家屋の破損などたいへんなひ害が発生しており、市の対策が疑問視されています。水害想定地区を重視すべきです。</p> <p>市民の生活をより豊かにと、市がお考えならば、現在の市民の生活に近い、安全な土地利用が第一条件と考えます。地盤大国を無視できませんね！開発されたい意向は大事だと思いますが、果たして海老川上流地区でしょうか？松戸市長は長年市役所勤務されて、今までの都市計画の誤りも沢山ご存じではありませんか？</p> <p>市民の1円から始まる生活を豊かにされてきたとお考えでしょうか？昨年のコロナ発生から、充分に市政は働いているでしょうか？</p> <p>海老川上流地区整理事業は無謀な全く現在必要ない事業案です。自然災害を軽んじるようなら市民の安心安全な生活の保障はありません。1円の税金を無駄にしないかしこい市政が第1です。きっと予算はふくらみ、計画期限のおくれ、また工事中に災害にみまわれたらどうしますか。</p> <p>大雨の時に水を貯めておく場所だときいています。本当に必要な事業計画案でしょうか？人間の生活は土地からはじまりますね。昔の方々の知恵をよくお考えになってください。</p> <p>メディカルセンター構想は素晴らしいと思います。なぜ今までつくらなかったのですか？今あれば、コロナ患者受け入れ先の重要病院の1つになったかもしれませんよ！役に立つものは大切ですね！市はつねに市民の日常をはあくし、向上する市民生活のためになる仕事が第一です。税の無だなどもっての他です！</p> <p>もっと土地を探してください！土地に金を使うことなく、市民の同意がえられる事業計画をつくってこそその都市計画ではありませんか！</p>

No.	議案	意見書全文
46	区画整理	<p>海老川上流地区は、ハザードマップで浸水想定地域になっています。</p> <p>そこへ病院等災害時にもっとも重要な施設をわざわざ建設するのは絶対にやめた方がよいと思います。</p> <p>ぜひ宅地にしてしまうのではなく遊水地公園などにして下さい。</p> <p>よろしくお願ひ致します。</p>
47	区画整理	<p>市立医療センターの移設は、安全な場所での建て替えを提案します。</p> <p>私自身、当該医療センターで心臓病の治療を受けた経験から、緊急時の医療体制の確保が、いかに大切なことを理解することが出来ました。</p> <p>皆様にも、設置場所の環境の見直しを行い再検討をお願いします。</p> <p>開発予定地域は、ハザードマップでは、浸水や、液状化の危険性が指適されている土地です。</p> <p>周辺が浸水すればドクターカーの出勤や患者の搬送もできません。</p> <p>安全な場所の確保を実施すべきです。</p>
48	区画整理	<p>メディカルタウン構想に税金を費やすより、町の産業をおこすべきだと思います。育てる農業であり、育てる漁業であり、産業であって欲しい。農業研修センターに切り替えてはどうですか？</p>
49	区画整理	<p>海老川上流の土地区画整理事業は、ストップしてほしいです。ハザードマップでも危険地帯に開発ではなく公園にしてほしいです。船橋はどんどん自然が無くなっています。市には自然豊かに市民の憩いを増やす行政であって欲しいです。</p>

No.	議案	意見書全文
50	区画整理	<p>海老川上流地区の市の現行案での開発計画に反対します。</p> <p>その理由として以下の点をあげます。</p> <p>1,ハザードマップで示されているとおり、当該地域は水害想定区域である。医療センターが災害時に水没してしまえばどうなるか、考えるまでもない。そんな土地に医療センターを移転させるのは無謀であり、本気で市民の命を守る気があるとは思えない。</p> <p>2,その害を防ぐために土地の嵩上げや液状化防止の工事を行うと市は計画しているが、そのために費用も時間も使うこととなる。この点では熱海の土石流災害を想起せざるを得ない。公的な規制をくぐり抜ける不法な手抜き工事が行われた例は熱海に限らず、これまでにも多々ある。海老川上流区域での土地改良工事がそうならないと誰が断言できるのか。この海老川再開発工事がそうならないようにするために市はどれだけの手立てを取る必要が出てくるのか。そのための人的、経済的負担を考えれば、医療センターの建て替えには他の土地を探すことの方が市民の納めた税金の使い方として適当であると考える。</p> <p>3,気候変動の著しい現在、想定以上の大雨が降ることを前提にことを進めるのが市民の命と暮らしを守る船橋市の義務である。大雨が降った際に、水をためておく土地として機能している現海老川上流区域を埋めたててしまえばどうなるか。水は高きから低きに流れる。海老川上流の土地が抱え込めなくなった水は下流に流れる。その下流とは即ち船橋市の中心部である。そこに大量の水、そして土石流が流れ込んでくる可能性を市は100%無いと断言できるのか。甚大な被害が発生した後に、「土地改良工事を請け負った業者の手抜きでした」と弁明しても誰が許すか。この意見書に限らず、多くの指摘をすでに受けているながら、その声を無視して再開発を強行した責任を市はどうとるつもりなのか。いたましい事故が発生し、人災であったと指摘されてから謝罪をしても失われた尊い命は帰らない。</p> <p>4,海老川上流地区環境影響調査ではこの地域内にカヤネズミやコチドリ、ニホンイシガメなどの重要な哺乳類、鳥類、爬虫類の生息が確認されている。この再開発により、これらの生物に与える影響は少なくないであろう。その影響を過小評価してまでも宅地開発事業を行おうとする船橋市に薄ら寒さを感じるのは私だけであろうか。</p> <p>以上の点から考えても海老川上流域を市街化区域に編入し、土地再開発事業を行うことに反対する。</p> <p>先の市長選挙で松戸市長は「このままでは当該区域は小規模な乱開発が進んでしまう。それにストップをかける必要がある」旨の発言をされていた。しかしその目的を叶えるための事業がこの医療センター移転と宅地開発事業に限定されてしまうのでは発想が豊かではないと失礼ながら申し上げる。</p>

No.	議案	意見書全文
		<p>その選挙で●●●●候補が提案していたように、この地域に「親水公園」のようなものを作るのが最適である。船橋市は全国的に見ても公園の少ない街である。市の責任でその点も改良すべきである。上述してきたように、この区域は大雨の際に降った水を貯めておく地形である。無理な宅地開発ではなく、自然の環境を残し、遊水池（地）の役目も果たす「親水公園」を作るよう、市民として心から願い、意見書を送るものです。</p> <p>以上</p>
51	区画整理	<p>開発区画の現状がインフラ整備が十分でないままに虫食い状の宅地化が進んでおり都市のスプロール化への早期対応が必要と述べていますが、それは開発規制を強化していく事こそが先行されるべきであり、「洪水・内水ハザードマップ」で指定されている地域開発に重要な医療センターを移設し、現在居住者が少なく多くの市民が切望してもいない「新駅」を誘致し開発に乗り出すと言うのは余りにも無謀と考えます。</p> <p>「市立医療センター」は船橋市の高度医療機関であり、船橋市民の命の砦とも言うべき重要施設です。市民の命を本当に考えるのであればもっと湛水・溢水への不安のない土地を最優先に計画すべきであると思います。</p> <p>どうしても計画を進めたいと考えるのであれば、もっと市民に説明する場を用意し声をしっかり聞くべきであると思います。余りにも市民に対して不親切な計画推進であると思います。</p>
52	区画整理	<p>資金計画で助成金や負担金 5 6 億円を市が負担することになっているとききます。行革で私達のささやかな老人祝金のカット、など身近な直接日常生活に密接なものが削減されている中での計画は納得いきません。その上、東葉高速鉄道の新駅建設費 6 5 億円も市が財政負担を市民への説明なしにやるとは納得できません。</p>

No.	議案	意見書全文
53	区画整理	<p>おねがいです。</p> <p>市が作った「ハザードマップ」を参考にしましたが、水害がきたら、水没するような所に「命を守る」、医療拠点を設けるような計画は変更して下さい。</p> <p>安全な場所に皆さんの税金を使って計画しよりよい船橋を実現していきましょう。</p> <p>私は平成元年に東京江東区から転居してきました。下町ゼロメートルという深川で、台風の経験を何度もしました。</p> <p>科学も進化している中で、未来を見すえた計画を願います。</p> <p>船橋は公園も道路も全国平均以下です。</p> <p>東京へ通勤していた頃は、船橋の地元がどんな所と考える暇もなくいた事を反省しています。「皆が健やかに成長し健やかに老いる」「井上ひさしの言葉だったかしら！！</p> <p>今こそ、何をどこにするか！</p> <p>命を守る政治をおねがいします。</p> <p>避難場所にもなる公園をメリカルタウに！！</p>
54	下水道	<p>海老川上流域は船橋市が作成した防災ハザードマップで最大3メートルの浸水地域であり30年以内に起こるといわれている大地震や明日起ころるかもしれない直下型地震で液状化する地域である。</p> <p>そんな所に医療センターを移し、新駅を作り、宅地造成すべきではない。それに伴う下水道も作るべきではない。</p>
55	下水道	<p>「下水道の変更」につき、海老川上流地区の土地区画整理事業そのものが、市のハザードマップで大降雨時浸水被害想定地でのものであり、認められず、欠陥を有しているもので、高瀬処理区の変更は認められない。</p>
56	下水道	<p>大規模な「宅地造成」を前提として下水道計画ではなく、船橋市全体の地勢を考えた「開発計画」を市民の総意をもとにしたものにする必要がある。</p>
57	下水道	<p>船橋都市計画下水道の変更案についてですが現在市街化調整区域となっている場所を市街化区域に変更することには反対です。ですので下水道工事も不用です。</p>

No.	議案	意見書全文
58	下水道	<p>以下の点を指摘して、海老川上流地区の区画整理事業をすすめるための当該区域を市街化区域に編入する計画の中止を求めます。</p> <p>1,SDGS国連持続可能な開発目標は15項目目に「陸上生態系の保護、回復及び持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止及び逆転、並びに生物多様性損失の阻止を図る」ことを掲げています。本計画は、この目標に反しています。「海老川上流地区環境影響調査業務委託調査報告書」(令和2年概要版)によると、この区域には重要植物が10種類が確認されています(37頁)が、植物相の変化の項では「造成工事により対象事業実施区域の植物多くは消失します」(39頁)と記されています。動物は、哺乳一種、鳥類21種、爬虫類7種、両生類1種、昆虫類9種の重要な動物が確認されています。植物同様、「事業の実施によりほとんどが消失します」とされています。陸水生動物は6種、底生動物6種が生存していますが、「暗渠化される宮前川に生息する種は一時的に大きく減少する可能性がある」としている。この報告書では、区画整理事業区域外に緑地や農地等が残っているのでそこに移動するような配慮をする、影響を減ずることが出来るといいますが、事業地で失われた動植物の回復は出来ないとしています。田畠で餌をついばむ鳥たちにとっては、田畠が無くなることによって餌場等の生存条件がうばわれ、減少消滅につながります。これは人間の生存の条件が悪化することあります。このような自然破壊の乱暴な事業は、実施するべきではありません。</p> <p>2,この事業用地は、2011年の東日本大震災で液状化が発生した場所です。また市の洪水マップによると3mほどの浸水が予測されています。(海老川9時間で516ミリ降雨)土地の造成に液状化対策を施し、区画整理用地をかさ上げし、浸水対策を実行するとなっています。しかし、海老川、長津川は、上流部の開発により毎年反乱を繰り返し、大橋市長時代に、激甚災害指定を受け、洪水対策を行ってきて、一定の改善がされてきています。しかし、現在の対策も、時間雨量30ミリ対応です。それもまだ県事業の調整池は完成していません。別な放流管が必要ですが、まったく進んでいません。ここ数年、地球温暖化の影響といわれていますが、50年に一度、100年に一度のこれまで経験していない豪雨が降り続き、甚大な被害が日本各地で発生しています。事業区域が農地として自然の調整機能を發揮しているから本町など市中心部での洪水が防げていますが、海老川上流域の宅地化により、かってのような洪水が生ずる可能性が高まります。このような危険な事業はやめるべきです。都市公園として、農業など自然を生かした街づくりをすることが、SDGSなど世界の流れに沿う方向であると考えます。</p>

No.	議案	意見書全文
59	下水道	<p>①土地区画整理事業について 開発後その土地を購入した人がこのところの異常気象で大きな災害にあった時、（床下・床上浸水等）どこが責任を持つのか。</p> <p>①市内に民間が開発した危険個所がたくさんあります。 新らしく開発をするより今あぶないところをチェックし市民の安全を守るのが先ではないか。</p> <p>①開発後の病院が駅の近くにないと聞きます。大型開発するより市民の利用できる公園にでもした方がよい</p> <p>①船橋市には公園が少なく最近では近くにあった空地も家がたち、災害の時にげ場もへりました。 公園がなく松戸市や習志野市、八千代市の公園を利用させてもらっています 船橋の公園にし、海老川の土地開発はやめてほしいです。 よって下水道を作る事も必要ないです。 市民の税金を市民の為に使って下さい。 都市計画そのものをみなおして下さい。</p>
60	下水道	市街化に反対します。

No.	議案	意見書全文
61	下水道	<p>本案の追加区域は、今なお繰り返し水害を引き起こしている海老川に飯山満川が合流する地域にあたります。現在、田畠となっている区域が多く、遊水地としての機能も大きく有していると思われます。この地域が本案に関連する市街化にともない、土地そのものが持っている保水機能が失われたとき、どれほどの新たな水害の危険性があるのか、非常に不安に思います。私の住む飯山満町では、飯山満川流域の内水氾濫による災害に幾度となく襲われてきました。強い雨が降るとすぐに内水氾濫で通行止めとなっていた16号橋のたもとでは、3年前に排水設備を設置して頂いたおかげで、それ以降一度も道路が冠水することになりました。地域住民、みな感謝しております。しかし、これは私たちの住む16号橋付近の事だけであり、その分他の部分に負荷が加わっていることは確かであり、河川全体としての治水が進展することが何より望まれるところです。県が進める「海老川調整池」事業は、今年度も試験施工が行われるものとの進捗率に変わりはなく、いつ事業が完成するのかの見通しが全く立っておりません。先日、都市計画課で伺ったところによると、海老川上流地区の土地区画整理事業後のハザードマップは作成されていないとのことであり、治水事業が進展しない中での市街化が、予想を超える被害を産み出す可能性は否定できません。千葉県が想定した『千葉県北西部直下地震』を基にした船橋市の「津波・地震ハザードマップ」において、震災時には「液状化危険性」が「極めて高い」あるいは「高い」とされる地域が多く含まれるとともに、「洪水・内水ハザードマップ」においては0.5~3.0mの浸水が想定される当該地区の土地区画整理事業自体が、「浸水被害の防除等」に反するものであり、下水道部におかれでは、危険な都市開発よりも市民の生命・財産を守るために、治水事業に注力して頂きたいと思います。</p>
62	下水道	<p>下水道に関しては3.11の時の浦安の下水道破裂などの惨事が思い起こされます。</p> <p>ハザードマップで指定してある地域は、もっと遊水池公園などの安心な土地利用される事を望みます。液状化した時の責任は市がもつという事でしょうか。私たちの税金はもっと安心してだれもが希望のもてるものに使って欲しいと思います。</p>
63	下水道	<p>市街化調整区域を市街化区域に変更しないで下さい。</p> <p>なので下水道工事も不要ですので反対です。</p>

No.	議案	意見書全文
64	下水道	<p>都市計画案の理由書に「高瀬地区の約4.2ヘクタールの区域を追加し、……浸水被害の防除等を図るものである。」とある。</p> <p>船橋都市計画下水道の変更（船橋市決定）によれば、降雨強度式によってIを求め、さらに係数C、面積Aと合わせて流量Qを求めている。その結果は、余裕は汚水で40%～100%、雨水で0%、と明記されている。想定している降雨量でなんとか下水で流していくける、ということのようである。</p> <p>しかしながら、降雨強度式によってIを求める際の想定降雨量は56mm/hrである。この降雨量は妥当な想定値とは言えないと考える。海老川上流域は船橋市が市民に周知を図っているところのハザードマップでは最大3m程度の浸水が生じる地域である。ハザードマップが想定する降雨量は56mm/hrを大きく上回る100mm/hrくらいである旨、下水道課職員から伺った。今回の下水道の変更案では56mm/hrを超える降雨量には対応できない。雨水の余裕は0%である。新しい街に住宅地を購入し家を建て生活する市民の財産は保全されずに、床上浸水の被害に見舞われることは明らかであるから、計画の変更が必要である。ハザードマップで最大3m程度の浸水が生じる地域の開発は無謀であると言わざるを得ない。</p>
65	下水道	海老川上流地区は市街化調整地区から市街化区域に変更する必要はないと考えます。したがって、下水道工事も不要です。
66	下水道	<p>市街化調整区域を市街化区域に変更することに反対です。</p> <p>下水道工事も不要です。</p>